

FDG-PET/CT 検査説明・同意書（検査当日持参して下さい）

様

年 月 日に以下のとおり説明しました。

医師

FDG（F-18 フルオロデオキシグルコース）という薬を静脈注射して検査を行います。ブドウ糖の代謝が変化する病気（がん・虚血性心疾患・サルコイドーシス・難治性てんかん・大型血管炎）について詳しく調べることができます。FDG が集まる部位を確認するため通常よりも線量を減らした CT 撮影もします。FDG による被ばく線量は約 3.5 mSv（ミリシーベルト）です。さらに CT 撮影での被ばく線量が増えます。放射線による人体への影響は報告されておらず心配はないといわれています。

FDG は悪性腫瘍のほかに、良性腫瘍や炎症部位、病気がない脳、心臓、肝臓、腎臓、腸管、膀胱などにも集まります。小さいがん、おとなしい（進行が遅い、悪性度が低い）がん、成分がまばらながん、胃・前立腺・腎・肝がんなどでは、病気がわかりにくいことがあります。さまざまな治療や治療薬によって FDG の集まり方が影響を受けることもあります。この検査にも限界があり万能ではありません。検査を受けても診断が確定しないことがあり、他の検査が必要になることがあります。

おひとりでトイレを使用できない方は、検査終了時までご家族の付き添いをお願いします。検査後の半日間は人の多いところには立ち寄らないでください。妊娠中あるいは妊娠の可能性のある方の検査は避けてください。別紙のパンフレットに食事制限・薬などについて詳しく説明がありますので、注意書きを守ってください。サルコイドーシスの方は、さらに長時間の絶食が必要です。専用のパンフレットがありますので、注意書きを読んでください。

私は担当医師により、上記の説明を受け、検査内容・注意事項などについて理解したので、検査を受けることに同意します。

検査画像（個人情報とは公開しない）の学術目的の利用を [承諾します ・ 承諾しません]
（いずれかに○をつけてください）

年 月 日

本人又は代諾者署名

代諾者の場合続柄

同席者